

厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和5年12月12日(火)

開催場所：1・2号委員会室

12月定例会提出の議案について審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。(所管分のみ掲載)

町民生活部

1. 一般会計補正予算（第5号） 社会福祉総務費・扶助費

【主な質疑】

委員：障害児通所給付費で当初予算約4600万円から966万円増額する根拠は？

担当：放課後等児童デイサービスの利用者数が当初想定の49人から51人と2名増、利用件数延べ588件から651件と63件の増、延べ利用日数3780日から4500日を見込み算定しました。

委員：障がい児の傾向は？

担当：近年、障がい児の数は増加傾向ですが、子どもの数は年々減少しています。放課後に訓練等が必要な子どもは多くなっていて、10名定員と8名定員の2事業所で週2日ぐらい利用している事業になります。

委員：昨年の高齢者世帯等生活応援給付金は22千円でしたが、今回1万円の理由は？

担当：昨年は北海道が1万2千円でプラス町単独1万円（福祉灯油に代わるもの）を支給しました。今年度は物価高騰対策で町から1万円のみとなります。

委員：基本的に申請書を送付し返送により支給とありますが、返送率はどのくらいを見込んでいますか？

担当：昨年と同給付金支給率は97.60%、今年度実施の価格高騰緊急支援給付金支給率は97.92%となっています。申請のない方には特定記録郵便で2回、3回と送付し、高齢者が多いためケアマネージャーに相談したりしています。今後、完全なプッシュ方式で一括振込も活用していきます。

2. 一般会計補正予算（第5号） 保健衛生指導対策費・器具費

【主な質疑】

委員：弱視屈折検査機器購入の経緯及び運用方法は？

担当：来年度に国の補助制度を活用し購入を予定していましたが、今回、寄附があったことと、来年度の国の補助制度が不透明なため、前倒しで国の補助を活用し購入を予定しています。なお、機器の運用は保健センターに設置し3歳児健診で使用します。

町立病院

1. 町立中標津病院事業会計補正予算（第2号） 給与費・看護師給

【主な質疑】

委員：看護師給減額の説明と退職者補充の見込みは？

担当：当初予算で121名を見込み積算しましたが、退職者、育児休業取得者などを考慮し再積算しています。昨年12月以降、退職者8名、今年度中途退職者7名、採用者が3名ありましたが、111名での積算となりました。

委員：退職理由は？

担当：12月以降の8名の内訳は家庭都合で2名、心身不調で2名、修学資金利用者で4年勤めて転出が1名、札幌の医療機関へ転職1名、助産学校進学で1名、別海の医療機関へ転職1名です。中途退職者7名は、心身不調で3名、家庭都合で3名、管内地域おこし協力隊に転職で1名です。

委員：心身不調とは？職場復帰への努力は？

担当：昨年度退職の心身不調の方2名は、中途採用で実質勤務は数か月です。採用後すぐに心身の不調を訴え、病気休暇取得や半日勤務を試みましたが勤務は難しと退職しています。今年度の3名は2名が心の不調で病気休暇取得しながら勤務していましたが退職し、もう1名は身体的な不調での退職です。

委員：採用者は貴重な戦力です。補充体制も含めどのように考えていますか？

担当：心身の不調は当院での採用前から不調を抱えていた方が半数ほどいます。地元の病院で復職を試み当院で採用していますが、やはりまた体調不良になり本人が辞める判断をされる例が多いです。職安を活用し潜在看護師の掘り起こし、求人出し方なども検討しています。地道に看護大学、専門学校に足を運び、就学資金活用の説明、ポスターの掲示、看護師がInstagramにて発信するなど人材発掘に努めていきます。

2. 町立中標津病院事業会計補正予算（第2号） 医療機械器具等購入費

【主な質疑】

委員：予防接種予約システム導入の経緯は？

担当：子どもクリニック閉院に伴い予防接種業務の増加に対応するために導入します。中学生以下対象の接種業務は3倍の3800件を小児科で対応することになり、完全予約制として月・水・金、午後3時から4時まで、1時間の中に20名の枠を設定し対応します。小児科以外の使用にも対応できるので状況をみて判断したいと考えています。

委員：泌尿器科オンライン診療システム、眼科自動視野計について説明を。

担当：三樹会泌尿器科病院から出張医師を受けるものに加え、オンライン診療を予定しています。当院の診察室で札幌の三樹会病院と画面を通じて診療を行うものです。来年4月からの診療に間に合うようにしたいと考えています。現在の通院患者さんは予約制を考えています。なお、本システムは他科での使用はできません。眼科自動視野計は緑内障診断に必要な不可欠な検査機器で、故障により予約患者が溜まっている状況です。外来診療報酬を見込めるように早急な更新を行うものです。

委員：泌尿器科の出張医師はどのくらいの診療日数を考えていますか？

担当：三樹会泌尿器科病院と協議中です。正式な回答ではありませんが、月4回くらいというお話はあります。患者数が多いことは承知いただいていることから、前述のオンライン診察の導入につながっています。最終的な日数はまだ決定していません。